

宇宙科学センター 植村誠准教授 ゼルドビッチメダル受賞について

このたび、広島大学・宇宙科学センター准教授の植村誠氏が、第 38 回 COSPAR 国際科学会議（2012 年 7 月 16 日、於インド・マイソール）において、ゼルドビッチメダルを授与されました。COSPAR（Committee on Space Research：宇宙空間研究委員会）とは、国際科学会議（International Council for Science：ICSU）のもとに 1958 年に設立された、宇宙関係の科学研究に関する権威ある国際委員会です。宇宙科学の広い分野をカバーしており、2 年に一度の国際科学会議を開いています。ゼルドビッチメダルは、COSPAR が優秀な科学業績を挙げた若手研究者に贈る賞です。旧ソビエト連邦の偉大な天体物理学者、ヤーコフ・ゼルドビッチを記念して 1990 年に設立されました。ゼルドビッチメダルは、2 年に一度の COSPAR 国際科学会議において授与されます。宇宙科学を 8 つの研究分野に分け、優れた業績を挙げた 36 歳以下の研究者が各分野あたり一人ずつ選ばれ授与されるもので、国際的に大変名誉ある賞です。これまでに日本人は 11 人選ばれています。植村氏は、天文学・天体物理学分野（Science Category E）で、日本人として 5 人目の受賞者となりました。

植村氏は、光赤外観測による突発天体・高エネルギー天体现象研究のエキスパートであり、Nature をはじめとする権威ある国際学術誌に多数の優れた研究成果を発表してきました。突発天体研究分野において、国際的に最も活発な若手研究者の一人です。植村氏は広島大学宇宙科学センターに着任以来、理学研究科・高エネルギー宇宙研究室とも密接な連携研究を展開し、高エネルギー宇宙現象の解明に大きな貢献をしてきました。今回の受賞は、植村氏の当該分野における学問的寄与が国際的に高い評価を受けたことを示しており、同氏の栄誉を称えるとともに、広島大学・宇宙科学センターとしても大変誇りに思うものであります。

2012 年 7 月 24 日

宇宙科学センター長
吉田道利

COSPAR ホームページ

<http://cosparhq.cnes.fr/>

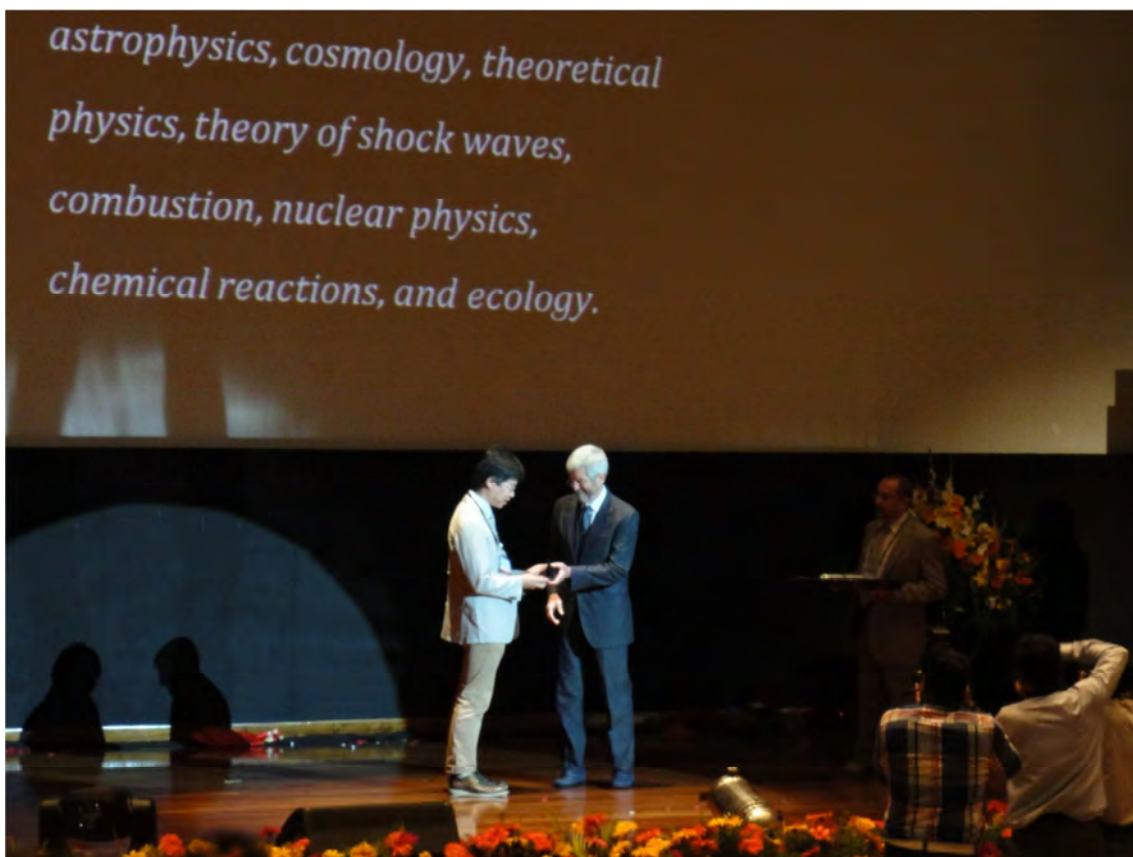
第 38 回 COSPAR 国際科学会議ホームページ

<http://www.cospar-assembly.org/>

第 38 回 COSPAR 国際科学会議（於インド）ゼルドビッチメダル受賞式（2012/7/16）



ゼルドビッチメダルを授与される植村誠准教授



COSPAR (Committee on Space Research・宇宙空間研究委員会) について

1957年から58年の国際地球観測年に行われた、ロケットと人工衛星の研究の協同プログラムを継続するために、1958年の10月に設立された。Inter-national Council of Scientific Union (国際学術連合評議会: ICSU*) の決議に、「COSPARの主たる目的は、世界の科学者に学術的なあらゆる種類の人工衛星の可能性を探究する手段を提供し、それによって得たデータを協同で交換することである」とうたわれている。

COSPARは国際的な学術組織で、宇宙船やロケット、気球など、あらゆる種類の基礎的研究の国際的規模の進展を目的とする。ICSUの下にあるCOSPARは、政治的考慮を無視し、すべての問題を科学的見地からのみ考慮する。日本の窓口は日本学術会議である。

ICSU (International Council for Science・国際科学会議) とは

1931年に非政府、非営利の国際学術機関として設立された。事務局所在地はパリ。学問分野を代表する約50の国際学術団体(国際天文学連合など)と約100か国の国家科学アカデミー(全米科学アカデミー、ロンドン王立協会等)などを束ねる科学者コミュニティの国際的な要であり、UNESCOと国際的学術の促進と発達のために密接な協力関係にあるほか、多くの国際共同研究計画を展開している。

わが国はICSU創設以来、日本学術会議が国家科学アカデミーとして加入しており、分担金は加盟国中第3位である。

1963年に茅誠司氏(日本学術会議会長・当時)が副会長に、1999年には吉川弘之氏(同)が会長に就任している。

ゼルドビッチ賞 (Zeldovich Award) について

ゼルドビッチ賞(ゼルドビッチメダル)は、ロシア科学アカデミーが、高名なアカデミー会員の天体物理学者ヤーコフ・B・ゼルドビッチ(Yacov B. Zeldovich)を記念して、若手の優秀かつ業績顕著な科学者に対して贈るもので、受賞者には顕彰メダルと証書が授与される。

この賞は原則として2年に1度、8つの科学委員会(SC-A~SC-H)ごとに1名が選出され表彰されており、通常、隔年開催のCOSPAR総会の際に開かれる科学委員会の開會会合において授与式が行われる。

受賞候補者となるのは、COSPAR事務局のメンバー、COSPAR各科学委員会議長または副議長、ロシア科学アカデミー職員のいずれかの署名による推薦を受けた、受賞対象年末現在36歳以下の若手科学者である。これまでの受賞者のうち、日本人は11名である。

*COSPARの科学委員会(Scientific Commissions)の構成(カッコ内は日本人受賞者)

- ・SC-A 地球表面・気象
- ・SC-B 月-惑星(2004 河北秀世)
- ・SC-C 超高層大気
- ・SC-D 磁気圏プラズマ(1992 大村善治、1998 平原聖文、2010 成田康人)

- SC-E 天体物理 (1996 堂谷忠靖、1998 坂尾太郎、2000 鶴剛、2002 清水敏文)
- SC-F 生命科学
- SC-G 材料科学 (1998 稻富裕光、2006 上野一郎、2010 塩見淳一郎)
- SC-H 基礎物理